

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 世界債券戦略ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)」は、このたび、第30期の決算を行いました。

当ファンドは日本を含む世界の様々な債券等を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ 世界債券戦略ファンド

<為替ヘッジなし> (毎月決算型) / <為替ヘッジあり> (毎月決算型)

愛称：戦略王

追加型投信 / 内外 / 債券

<為替ヘッジなし (毎月決算型) > <為替ヘッジあり (毎月決算型) >

第30期末 (2019年 1月22日)		第30期末 (2019年 1月22日)	
基準価額	9,539円	基準価額	9,187円
純資産総額	33百万円	純資産総額	9百万円
第25期～第30期		第25期～第30期	
騰落率	△ 0.7%	騰落率	△ 1.0%
分配金(税込み)合計	220円	分配金(税込み)合計	180円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンダー一覧」等から運用報告書 (全体版) を閲覧およびダウンロードすることができます。

交付運用報告書

- 第25期 (決算日 2018年 8月22日)
- 第26期 (決算日 2018年 9月25日)
- 第27期 (決算日 2018年10月22日)
- 第28期 (決算日 2018年11月22日)
- 第29期 (決算日 2018年12月25日)
- 第30期 (決算日 2019年 1月22日)

作成対象期間 (2018年 7月24日～2019年 1月22日)

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100
(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

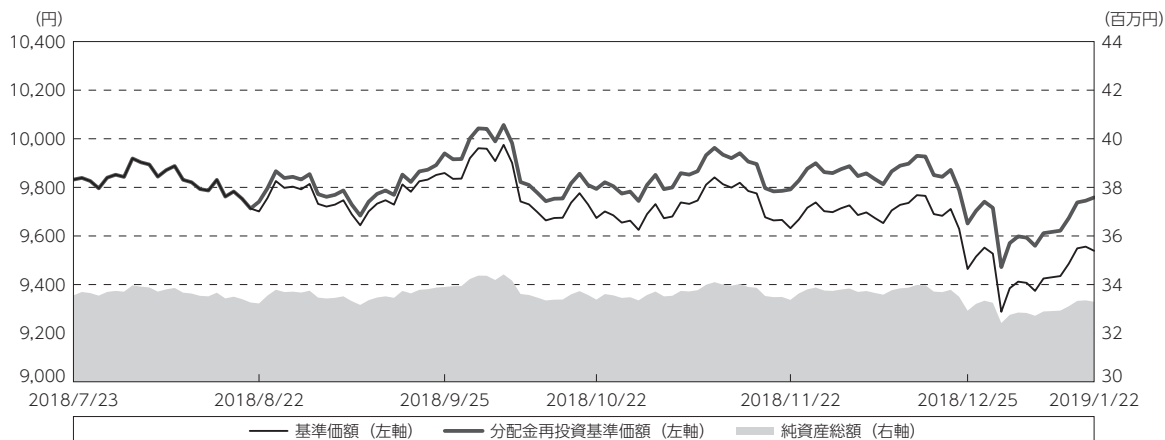
UD
FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

インベスコ 世界債券戦略ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年7月24日~2019年1月22日)



第25期首：9,832円

第30期末：9,539円 (既払分配金(税込み)：220円)

騰落率：△ 0.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年7月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の様々な債券などを実質的な主要投資対象とし、自由度の高い運用手法を用いて、債券種別、通貨およびキャッシュなどへの資産配分を機動的に変更した結果、実質的に保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)が基準価額の上昇要因となりました。
- ・世界景気の減速懸念や英国の欧州連合(EU)からの離脱(ブレグジット)交渉の難航などによるリスク回避姿勢の高まりを背景に、米国などの金利が低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じてみると米ドルが円に対して下落したことが、基準価額の下落要因となりました。
- ・金融劣後債やエマージング市場における一部の保有銘柄の価格の下落が、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年1月22日)

項 目	第25期～第30期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 39	% 0.395	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(3)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(34)	(0.352)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.061	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.015)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(4)	(0.038)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	45	0.456	
作成期間の平均基準価額は、9,741円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月22日～2019年1月22日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2016年8月5日です。

	2016年8月5日 設定日	2017年1月23日 決算日	2018年1月22日 決算日	2019年1月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,067	10,278	9,539
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	160	960	620
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	12.3	1.6	△ 1.1
純資産総額 (百万円)	30	33	33	33

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年1月23日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象資産、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2018年7月24日～2019年1月22日)

米国10年国債利回り 2.74% (前作成期末2.96%) ドイツ10年国債利回り 0.24% (同0.41%)
 米ドル／円 109円69銭 (前作成期末 110円96銭)

※上記は作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは低下しました。①米中貿易戦争への懸念、②世界景気の減速懸念一などが利回りの低下要因となりました。

作成期初から2018年11月上旬までは、①米ISM製造業景況感指数や雇用統計などの経済指標が堅調だったこと、②米国の利上げ継続姿勢が強調されたこと一などを要因に、利回りが大きく上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月中旬以降は、①米中貿易戦争の激化への懸念、②世界景気の減速懸念、③英国のブレグジット交渉の先行き不透明感一などから投資家のリスク回避姿勢が高まり、金利は低下に転じました。

一方、欧州では作成期初から2018年9月までは、トルコの債務問題や堅調な経済指標などを背景に、欧州主要各国の金利は上昇しました。しかしその後、①イタリアの予算問題、②ブレグジット交渉の先行き不透明感、③世界的な景気減速懸念一などが台頭し、投資家のリスク回避姿勢の高まりから欧州主要国の金利は低下しました。

<為替市場>

当作成期間中、米ドル／円は上下動を繰り返した後、2018年12月に米ドルが対円で急落、作成期を通じてみると円高／米ドル安となりました。2018年12月中旬までは、米中貿易戦争に対する懸念から上値が抑えられたものの、米国での堅調な経済指標や利上げを背景に米ドルは対円で上昇しました。しかし12月に入り、米中貿易戦争の一層の激化懸念や世界景気の減速懸念などから株式市場などが調整色を強めると、米ドルは対円で大幅に下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月24日～2019年1月22日)

インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド クラスC-MD 投資信託証券 (米ドルヘッジ) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券などに投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を目指しました。具体的には、作成期を通じて国債、現金、金融劣後債を高めを組み入れとしました。国別配分では、米国、ドイツ、イタリアを中心に運用を行いました。

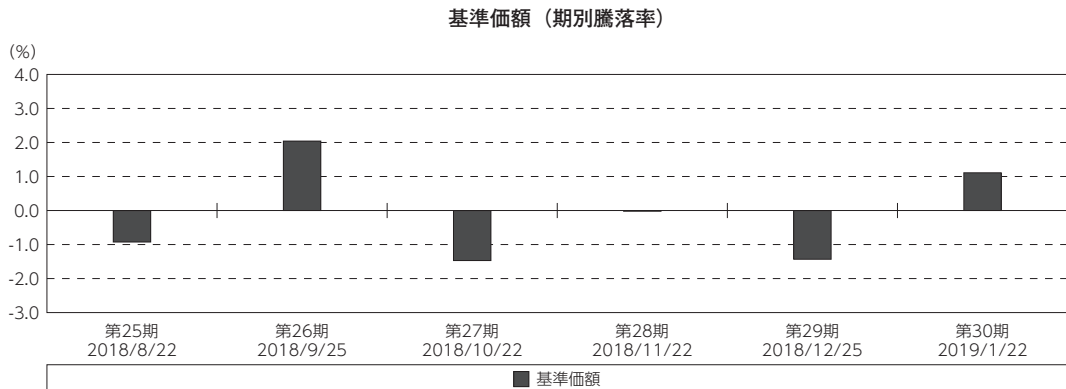
マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月24日～2019年1月22日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2018年7月24日～2019年1月22日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第25期から第28期は1万口当たり40円、第29期と第30期は1万口当たり30円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期
	2018年7月24日 ～2018年8月22日	2018年8月23日 ～2018年9月25日	2018年9月26日 ～2018年10月22日	2018年10月23日 ～2018年11月22日	2018年11月23日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月22日
当期分配金	40	40	40	40	30	30
(対基準価額比率)	0.411%	0.404%	0.412%	0.414%	0.316%	0.314%
当期の収益	－	24	－	－	－	24
当期の収益以外	40	15	40	40	30	5
翌期繰越分配対象額	7,005	6,990	6,967	6,949	6,941	6,935

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン(ユーロ)ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券などに投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を目指します。具体的には、自由度の高い運用手法を用いて、市場動向に応じて債券種別、通貨およびキャッシュなどへの資産配分を機動的に変更します。また、発行体企業のファンダメンタルズ分析やリスク・リターンのバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、ファンダメンタルズが良好で、国内政治情勢の不透明感が低く、バリュエーションが魅力的な新興国債を愛好します。足元では、引き続き米中貿易問題や世界的な景気減速懸念、金融環境に対する不透明感が根強いことから、ファンドでは先進国を中心に国債などの流動性資産を多く保有しています。ただし、最近のクレジット市場での変動性(ボラティリティ)の高まりを受け、相対価値の観点から魅力的な投資機会も見い出せると考えており、慎重なスタンスながらも引き続き、資産配分を機動的に調整し、相対的に高いインカム収益と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

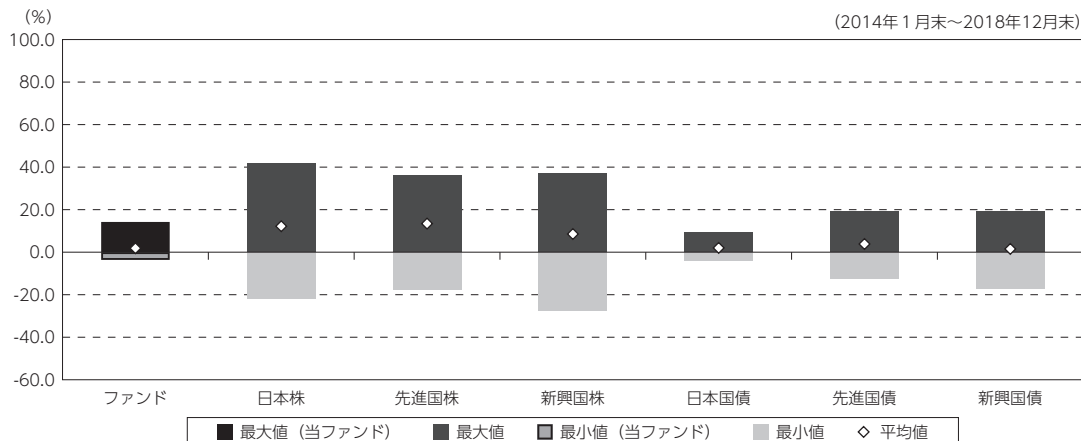
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2026年7月22日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 世界債券戦略ファンド <為替ヘッジなし> (毎月決算型)	「インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券 (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券等を実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、債券種別、通貨およびキャッシュ等への資産配分を機動的に変更します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.8	12.2	13.4	8.5	2.0	3.8	1.5
最大値	14.2	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-3.6	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年1月22日現在)

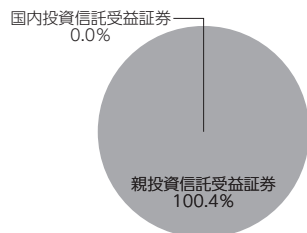
○組入上位ファンド

銘柄名	第30期末
インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド	100.4 %
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.0
組入銘柄数	2銘柄

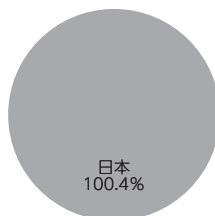
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

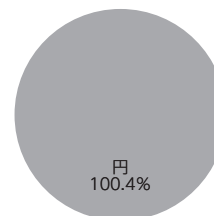
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末	第30期末
	2018年8月22日	2018年9月25日	2018年10月22日	2018年11月22日	2018年12月25日	2019年1月22日
純資産総額	33,222,926円	33,900,231円	33,380,232円	33,370,910円	32,924,879円	33,292,235円
受益権総口数	34,245,362口	34,386,499口	34,504,599口	34,647,103口	34,790,923口	34,900,982口
1万円当たり基準価額	9,701円	9,859円	9,674円	9,632円	9,464円	9,539円

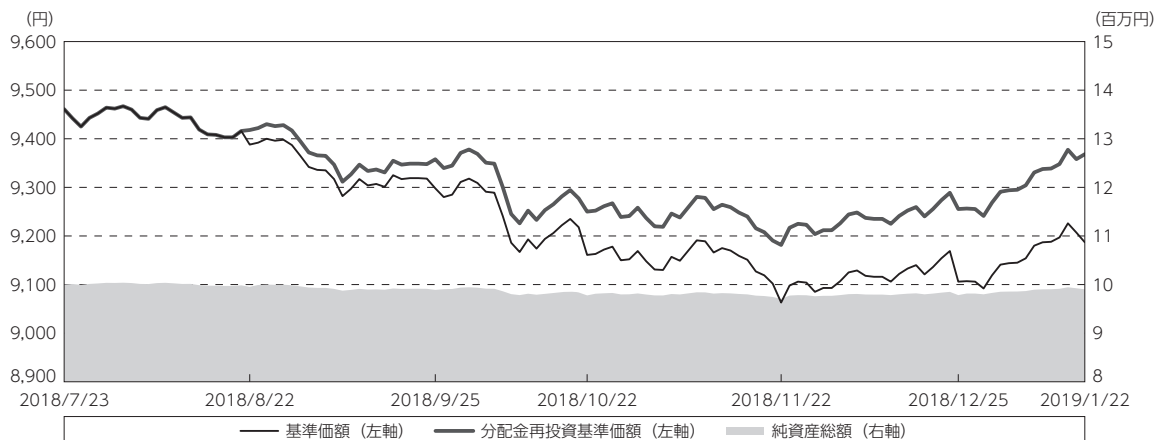
* 作成期間 (第25期~第30期) 中における追加設定元本額は773,249円、同解約元本額は0円です。

インベスコ 世界債券戦略ファンド<為替ヘッジあり> (毎月決算型)

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2018年7月24日~2019年1月22日)



第25期首：9,461円

第30期末：9,187円 (既払分配金(税込み)：180円)

騰落率：△ 1.0% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年7月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・日本を含む世界の様々な債券などを実質的な主要投資対象とし、自由度の高い運用手法を用いて、債券種別、通貨およびキャッシュなどへの資産配分を機動的に変更した結果、実質的に保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)が基準価額の上昇要因となりました。
- ・世界景気の減速懸念や英国の欧州連合(EU)からの離脱(ブレグジット)交渉の難航などによるリスク回避姿勢の高まりを背景に、米国などの金利が低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行ったため、米ドルと円の金利差によるヘッジコストが、基準価額の下落要因となりました。
- ・金融劣後債やエマージング市場における一部の保有銘柄の価格の下落が、基準価額の下落要因となりました。

1万口当たりの費用明細

(2018年7月24日～2019年1月22日)

項 目	第25期～第30期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 37	% 0.395	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
(販 売 会 社)	(33)	(0.352)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	6	0.061	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(2)	(0.016)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(3)	(0.037)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する費用
合 計	43	0.456	
作成期間の平均基準価額は、9,241円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

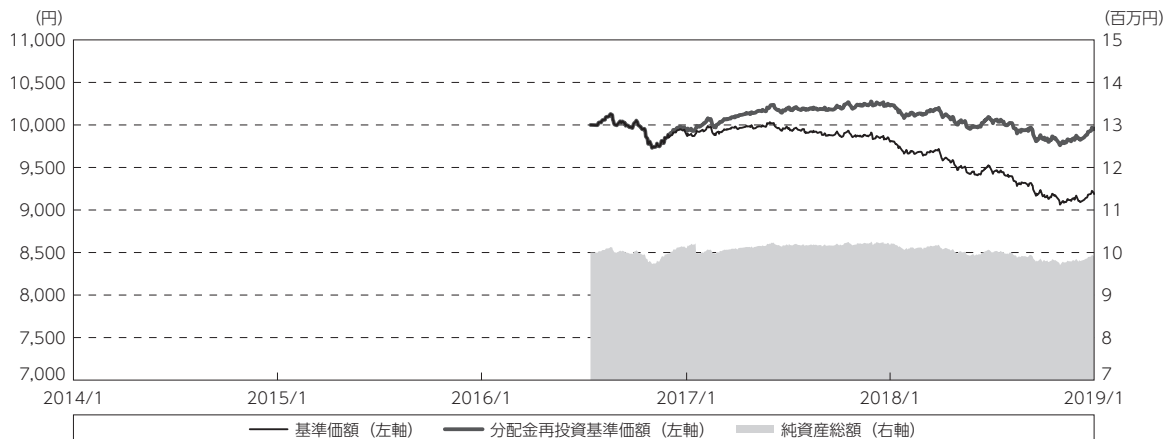
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月22日～2019年1月22日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 当ファンドの設定日は2016年8月5日です。

	2016年8月5日 設定日	2017年1月23日 決算日	2018年1月22日 決算日	2019年1月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,882	9,803	9,187
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	60	360	360
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.6	2.9	△ 2.6
純資産総額 (百万円)	10	10	10	9

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年1月23日の騰落率は設定当初との比較です。

(注) 当ファンドは、特定の市場指数にとらわれずに、市場局面や今後の見通しにあわせて、投資対象資産、信用格付配分、金利感応度等を積極的に変化させる運用を行うため、当ファンドと比較する適切なベンチマークまたは参考指数が存在しません。このためベンチマークまたは参考指数を掲載していません。

投資環境

(2018年7月24日～2019年1月22日)

米国10年国債利回り 2.74% (前作成期末2.96%) ドイツ10年国債利回り 0.24% (同0.41%)
 米ドル／円 109円69銭 (前作成期末 110円96銭)

※上記は作成期末の数値です。

<債券市場>

当作成期間中、米国10年国債利回りは低下しました。①米中貿易戦争への懸念、②世界景気の減速懸念一などが利回りの低下要因となりました。

作成期初から2018年11月上旬までは、①米ISM製造業景況感指数や雇用統計などの経済指標が堅調だったこと、②米国の利上げ継続姿勢が強調されたこと一などを要因に、利回りが大きく上昇（債券価格は下落）しました。しかし11月中旬以降は、①米中貿易戦争の激化への懸念、②世界景気の減速懸念、③英国のブレグジット交渉の先行き不透明感一などから投資家のリスク回避姿勢が高まり、金利は低下に転じました。

一方、欧州では作成期初から2018年9月までは、トルコの債務問題や堅調な経済指標などを背景に、欧州主要各国の金利は上昇しました。しかしその後、①イタリアの予算問題、②ブレグジット交渉の先行き不透明感、③世界的な景気減速懸念一などが台頭し、投資家のリスク回避姿勢の高まりから欧州主要国の金利は低下しました。

<為替市場>

当作成期間中、米ドル／円は上下動を繰り返した後、2018年12月に米ドルが対円で急落、作成期を通じてみると円高／米ドル安となりました。2018年12月中旬までは、米中貿易戦争に対する懸念から上値が抑えられたものの、米国での堅調な経済指標や利上げを背景に米ドルは対円で上昇しました。しかし12月に入り、米中貿易戦争の一層の激化懸念や世界景気の減速懸念などから株式市場などが調整色を強めると、米ドルは対円で大幅に下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年7月24日～2019年1月22日)

インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド (以下、マザーファンドといたします。) を高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券などに実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信) (以下、マネープール・ファンドといたします。) を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図りました。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド クラスC-MD 投資信託証券 (米ドルヘッジ) に投資を行いました。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券などに投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を目指しました。具体的には、作成期を通じて国債、現金、金融劣後債を高めを組み入れとしました。国別配分では、米国、ドイツ、イタリアを中心に運用を行いました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

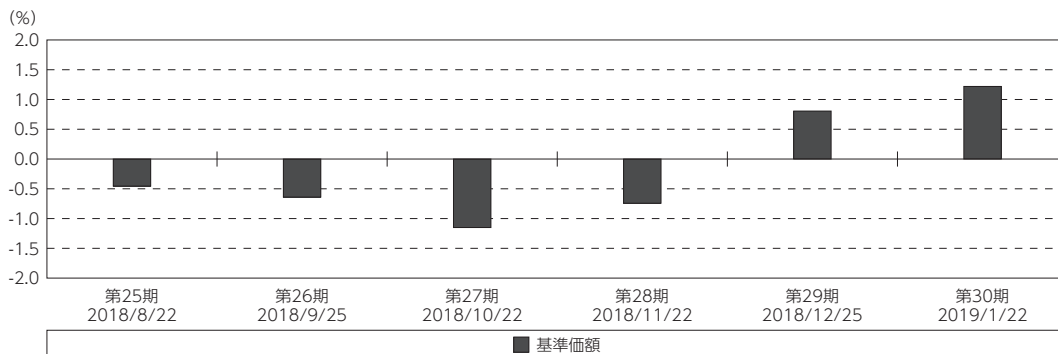
当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年7月24日～2019年1月22日)

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークや参考指数を設けておりません。

下記のグラフは、当作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率 (分配金込み) です。

基準価額 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税込み) 込みです。

分配金

(2018年7月24日～2019年1月22日)

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第25期から第30期は1万口当たり30円(全て税込み)とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項目	第25期	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期
	2018年7月24日 ～2018年8月22日	2018年8月23日 ～2018年9月25日	2018年9月26日 ～2018年10月22日	2018年10月23日 ～2018年11月22日	2018年11月23日 ～2018年12月25日	2018年12月26日 ～2019年1月22日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.319%	0.322%	0.326%	0.330%	0.328%	0.325%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	30	30	30	30	30	30
翌期繰越分配対象額	7,881	7,867	7,853	7,844	7,839	7,833

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、日本を含む世界の様々な債券などに実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン(ユーロ)ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券(米ドルヘッジ)に投資を行います。同外国投資信託では、主として日本を含む世界の様々な債券などに投資することにより、投資信託財産の長期的な成長を目指します。具体的には、自由度の高い運用手法を用いて、市場動向に応じて債券種別、通貨およびキャッシュなどへの資産配分を機動的に変更します。また、発行体企業のファンダメンタルズ分析やリスク・リターンのバランスを考慮しながら銘柄選定を行う方針です。投資先のセクターでは、金融セクター、特に金融劣後債に魅力的な投資機会があると考えており、中長期的に強気の見通しを持っています。また、ファンダメンタルズが良好で、国内政治情勢の不透明感が低く、バリュエーションが魅力的な新興国国債を選好します。足元では、引き続き米中貿易問題や世界的な景気減速懸念、金融環境に対する不透明感が根強いことから、ファンドでは先進国を中心に国債などの流動性資産を多く保有しています。ただし、最近のクレジット市場での変動性(ボラティリティ)の高まりを受け、相対価値の観点から魅力的な投資機会も見いだせると考えており、慎重なスタンスながらも引き続き、資産配分を機動的に調整し、相対的に高いインカム収益と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

お知らせ

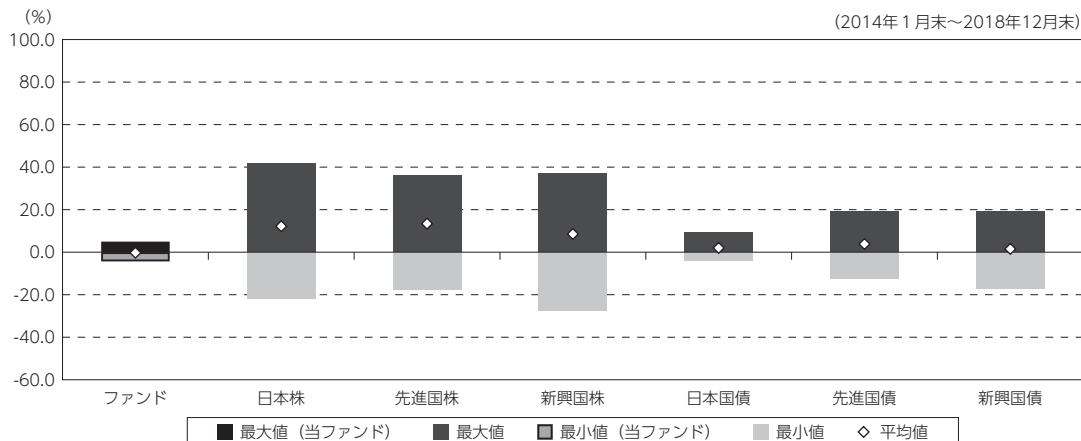
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2026年7月22日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 世界債券戦略ファンド <為替ヘッジあり> (毎月決算型)	「インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)」を主要投資対象とします。
	インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資します。 *別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券 (米ドルヘッジ) です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・主として日本を含む世界の様々な債券等に実質的に投資します。 ・自由度の高い運用手法を用いて、債券種別、通貨およびキャッシュ等への資産配分を機動的に変更します。 ・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。 	
分配方針	原則として毎月の決算時 (毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日) に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	-0.3	12.2	13.4	8.5	2.0	3.8	1.5
最大値	5.0	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	-4.3	-22.0	-17.5	-27.4	-4.0	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドは2017年8月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P22の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年1月22日現在)

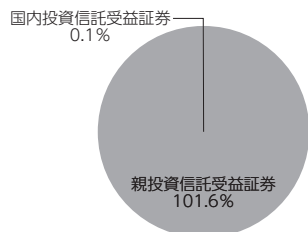
○組入上位ファンド

銘柄名	第30期末
インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド	101.6%
インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	0.1
組入銘柄数	2銘柄

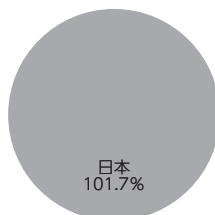
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

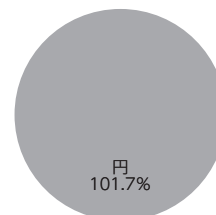
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

純資産等

項目	第25期末	第26期末	第27期末	第28期末	第29期末	第30期末
	2018年8月22日	2018年9月25日	2018年10月22日	2018年11月22日	2018年12月25日	2019年1月22日
純資産総額	9,954,715円	9,890,598円	9,777,265円	9,704,032円	9,782,945円	9,902,544円
受益権総口数	10,603,960口	10,637,862口	10,672,413口	10,707,487口	10,743,058口	10,778,360口
1万円当たり基準価額	9,388円	9,298円	9,161円	9,063円	9,106円	9,187円

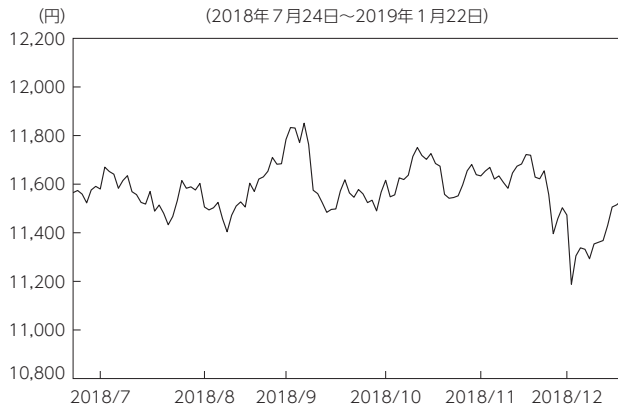
* 作成期間 (第25期~第30期) 中における追加設定元本額は208,355円、同解約元本額は214円です。

組入上位ファンドの概要

インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年7月24日～2019年1月22日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年7月24日～2019年1月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	円 1 (1) (0)	% 0.008 (0.008) (0.000)
合計	1	0.008

期中の平均基準価額は、11,598円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

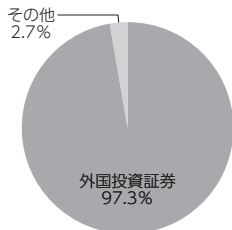
(2019年1月22日現在)

銘柄名	第5期末
インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド クラスC-MD	97.3 %
組入銘柄数	1銘柄

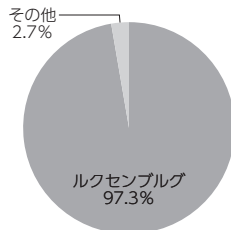
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

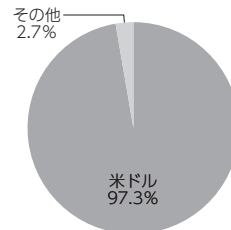
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍 (所在国) などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書 (全体版) をご参照ください。

———— (参考情報) ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド ————

「インベスコ 世界債券戦略 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ グローバル・トータル・リターン (ユーロ) ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位 10 銘柄】

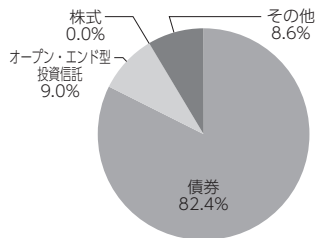
(2018年2月28日現在)

	銘柄名	種別	比率 %
1	Invesco Short-Term Investments Co Global Series - Euro Liquidity Portfolio	オープン・エンド型投資信託	9.0
2	United States Treasury Inflation Indexed Bonds 0.125% USD 15/04/2022	債券	5.2
3	United States Treasury Note/Bond 2.25% USD 15/11/2027	債券	3.4
4	Republic of South Africa Government Bond 8.75% ZAR 28/02/2048	債券	3.3
5	United States Treasury Strip Principal 0% USD 15/05/2044	債券	3.2
6	Mexican Bonos 7.5% MXN 03/06/2027	債券	3.1
7	Italy Buoni Poliennali Del Tesoro 144A 2.8% EUR 01/03/2067	債券	2.2
8	Bundesrepublik Deutschland Bundesanleihe 2.5% EUR 15/08/2046	債券	2.0
9	United Kingdom Gilt 1.75% GBP 22/07/2019	債券	2.0
10	Tesco Plc 6.15% USD 15/11/2037	債券	2.0
組入銘柄数		125銘柄	

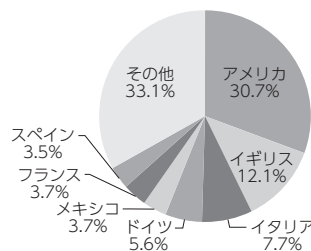
(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

【資産別配分】



【国別配分】



(注) 比率は、純資産に対する割合です。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

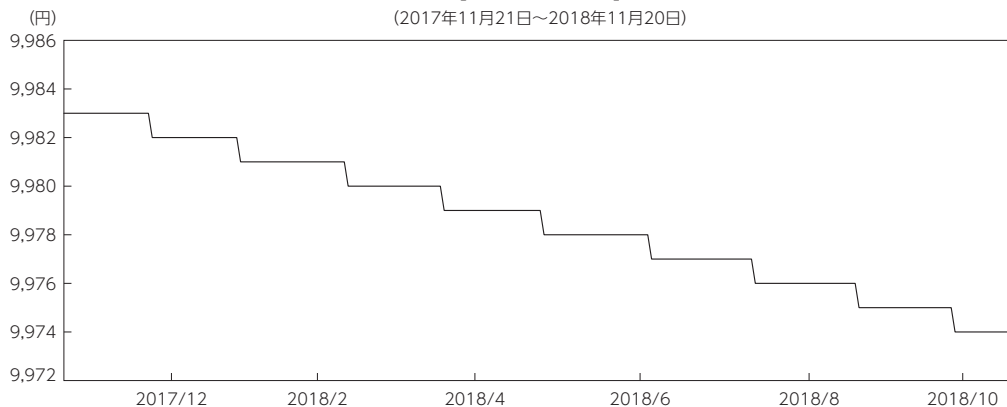
【通貨別配分】

必要な情報が開示されておりません。

インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)

【基準価額の推移】

(2017年11月21日～2018年11月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年11月21日～2018年11月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 0 (0) (0) (0)	% 0.000 (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、9,978円です。			

(注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年11月20日現在)

2018年11月20日現在、有価証券等の組み入れはございません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○TOPIX (東証株価指数) (配当込み)

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

○MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI コクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

○NOMURA - BPI 国債

NOMURA - BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド (米ドルベース) に、当日の米ドル為替レート (WM/ロイター値) を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社 (「JP モルガン」) に帰属しております。JP モルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JP モルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。